

参考：メディア・ソフトの1次流通市場 マルチユース市場のこれまでの推移

平成22年1月15日

総務省情報通信政策研究所

映画ソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

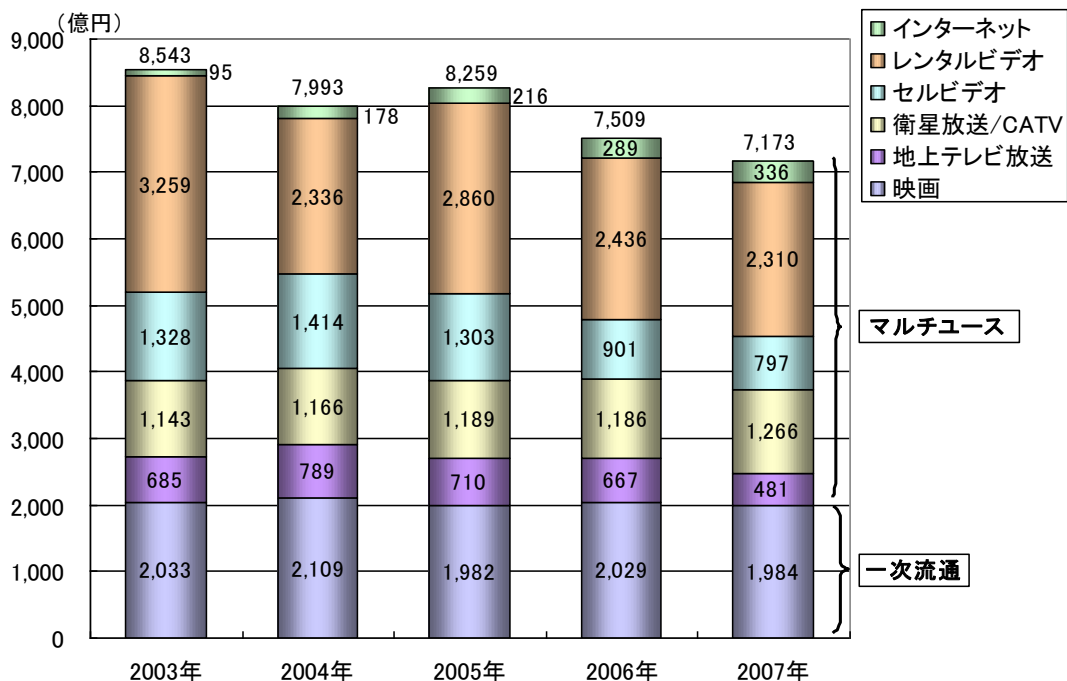
・算出方法 ⇒ 映画館の上映による総興行収入から算出。

・最近の動向・・・2005年はヒット作に恵まれず、前年に比べて市場規模が減少。邦画が好調であったことから、2006年は反転して市場規模は増加。2007年はヒット作に恵まれなかったことから約2%減少して1984億円と2005年レベルとなった。

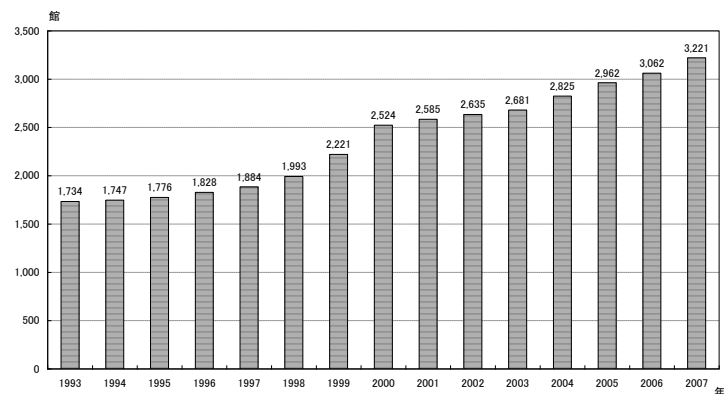
■マルチユース市場

・算出方法 ⇒ 地上テレビ放送、衛星放送、CATV、ビデオソフト、インターネット(PC/携帯)について事業者等の収入から算出。

・最近の動向・・・デジタル衛星放送の開始やDVDの普及を背景に市場規模は増加していたが、近年はヒット作が少ないこともあり2007年の映画ソフトのマルチユース市場は5,189億円と、2006年の5,480億円と比して減少した。セルビデオ、レンタルビデオ、地上テレビ放送等で減少がみられた。なお、映画ソフトのマルチユースの市場規模は一次流通市場規模の2倍以上あり、ソフト種別でみると最もマルチユースが進んでいる。



映画ソフト市場の推移
いずれも「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



映画館数の推移

ビデオソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

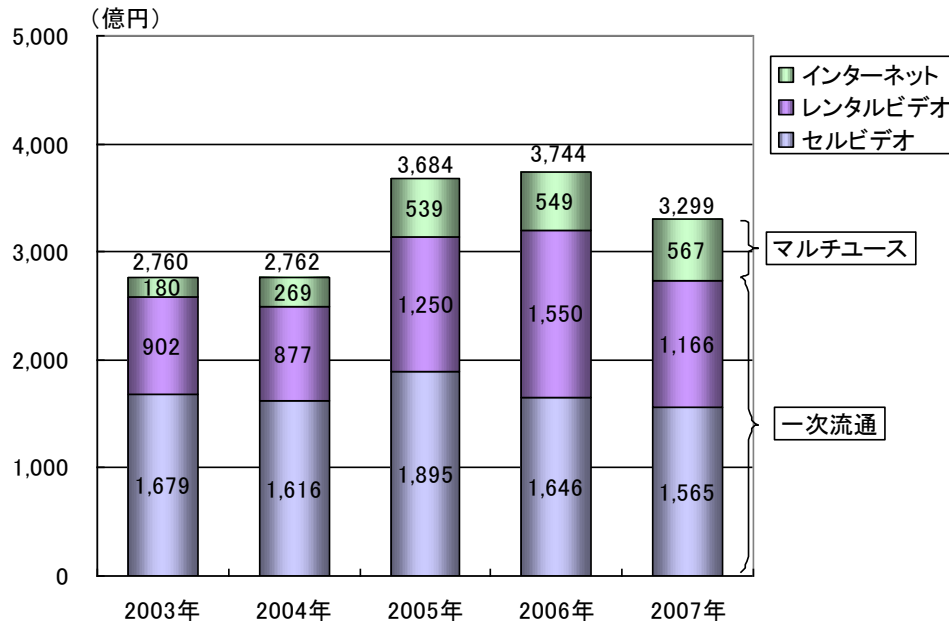
・算出方法 ⇒ ビデオ販売及びビデオレンタルの数量から算出。

・最近の動向・・・DVDの普及等を背景として一次流通市場は増加していたが、2007年は2,731億円となり、2006年から大きく減少した。レンタルビデオの減少幅が大きい。

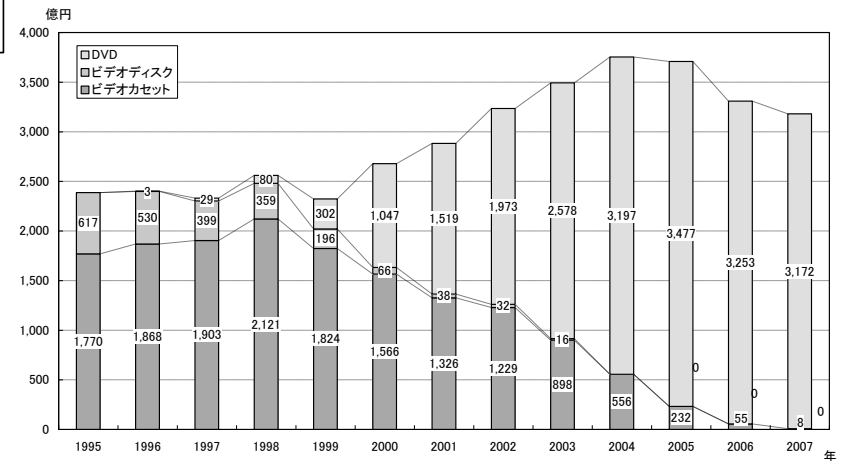
■マルチユース市場

・算出方法 ⇒ インターネット配信について有料課金分について算出。

・最近の動向・・・通信ネットワークでの配信による利用収入は、2007年で567億円と、2003年の180億円と比較して、大きく伸びている。



ビデオソフト市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



DVD/ビデオカセット売上高の推移
※映画ソフトの二次利用なども含む
(社)日本映像ソフト協会統計調査

地上テレビ番組市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

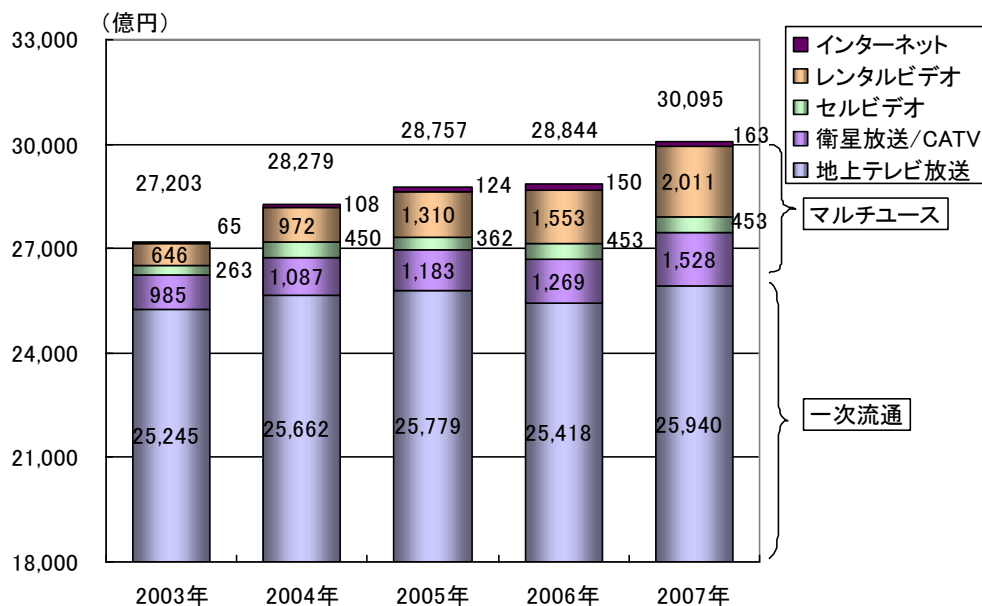
・算出方法 ⇒ 地上テレビ放送局のテレビ放送事業収入から算出。

・最近の動向・・・2007年の市場規模は2兆5,940億円で、2006年から2.1%増加した。NHKの受信料収入が増加するとともに、民放テレビのテレビ放送事業収入が2005年の水準に回復したことが要因である。

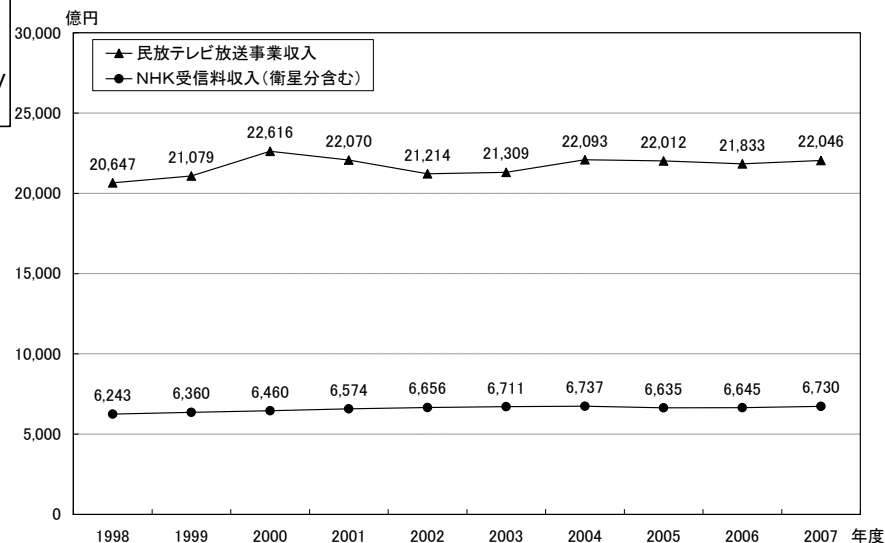
■マルチユース市場

・算出方法 ⇒ 衛星放送、CATV、ビデオにおいて地上テレビ番組が二次利用された割合(地上テレビ番組放送率等)から算出。インターネット配信について有料課金分について算出。

・最近の動向・・・地上テレビ番組の2007年のマルチユース市場は、衛星放送/CATV、DVD/ビデオレンタルが好調で、4,154億円に達し、2006年の3,426億円から21.3%増と拡大している。



地上テレビ番組市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



民放のテレビ放送事業収入及びNHKの受信料収入の推移
日本放送協会『NHK年鑑』、(社)日本民間放送連盟『日本民間放送年鑑』

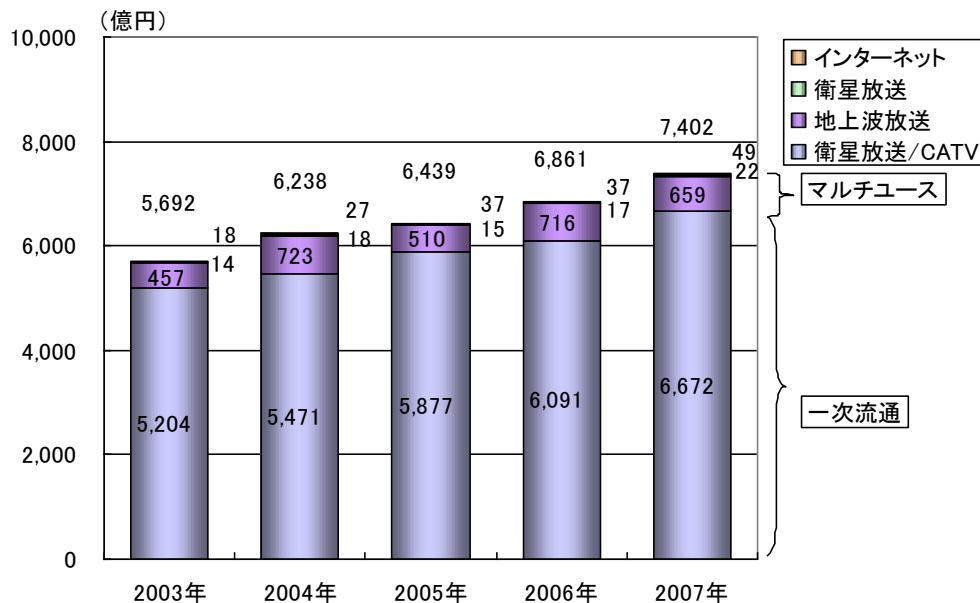
衛星テレビ / CATV番組市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■ 1次流通市場

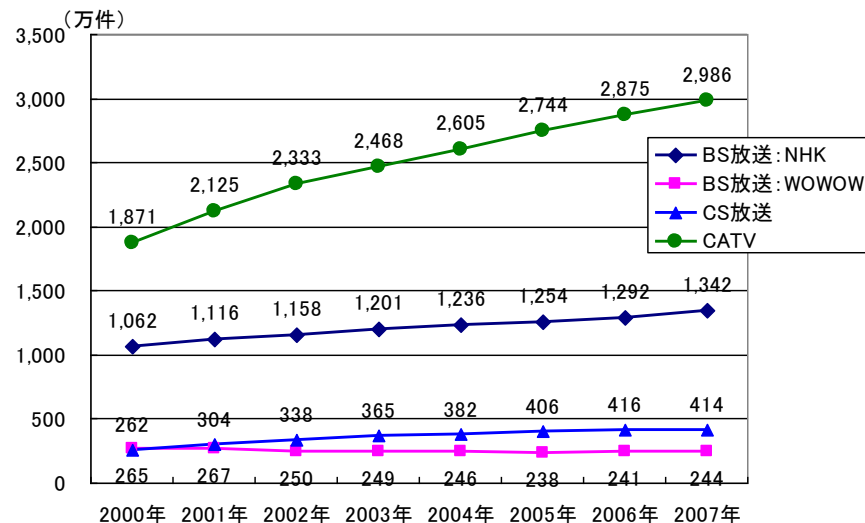
- ・算出方法 ⇒ 衛星テレビ放送局/CATV局のテレビ放送事業収入から算出。
- ・最近の動向・・・BS放送、CS放送、CATVの受信契約者の増加とともに、一次流通市場が増加している。

■ マルチユース市場

- ・算出方法 ⇒ 地上放送、衛星放送において衛星テレビ番組が二次利用された割合(衛星テレビ番組放送率)から算出。また、インターネット配信について有料課金分について算出。
- ・最近の動向・・・衛星テレビ/CATV番組のマルチユースは、地上波放送が大部分で、その規模は500億円から700億円程度でほぼ横ばいである。インターネット配信は伸びているものの、規模はまだ小さい。



ソフト市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



加入者数の推移
BS放送及びCS放送: 総務省「情報通信白書」
CATV: 総務省「ケーブルテレビの現状」

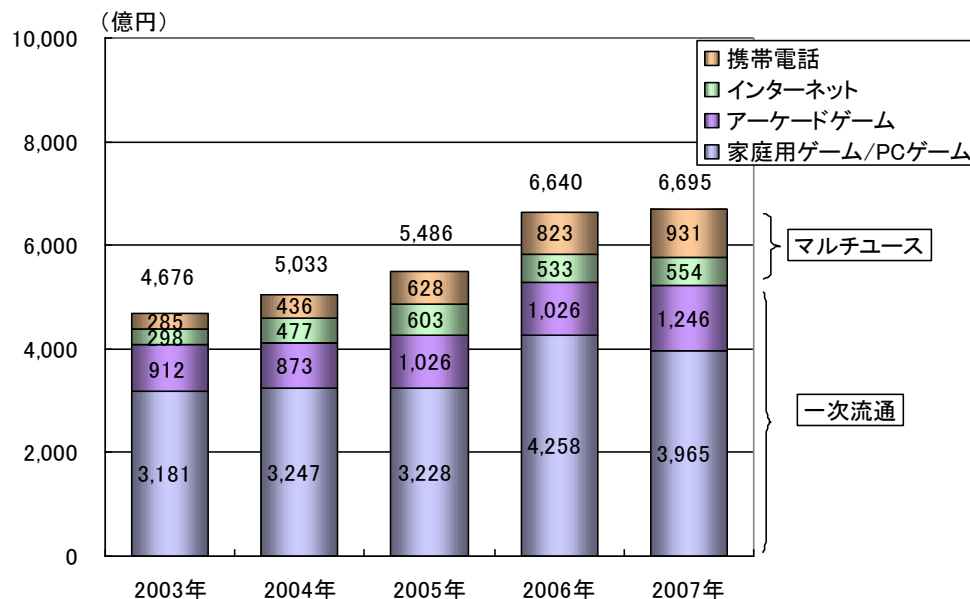
ゲームソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

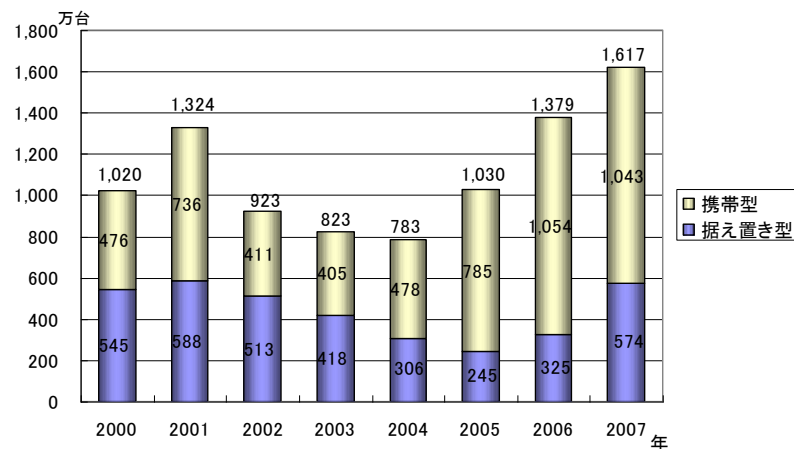
- ・算出方法 ⇒ 家庭用ゲーム、PCゲームの販売額及びアーケードゲームのうちビデオゲームによる売上高から算出。
- ・最近の動向・・・ゲームソフトの1次流通市場は低迷していたが、携帯型ゲーム機向けソフトの増加により、2006年に市場が大きく伸びた。また、アーケードゲームは増加傾向にある。家庭用ゲーム機は、携帯ゲーム機では2004年12月にプレイステーション・ポータブル(PSP)、ニンテンドーDSが発売。また、据え置き型ではプレイステーション(プレステ)3が2006年11月、Wiiが同年12月に発売。

■マルチユース市場

- ・算出方法 ⇒ ゲームソフト配信及びオンラインゲームによる利用料収入から算出。
- ・最近の動向・・・インターネット、携帯電話とも順調に市場拡大してきたが、インターネットは2005年からほぼ横ばいとなっている。その結果、マルチユースの割合は、2003年の12.5%から2007年には22.2%と大幅に拡大している。



ゲームソフト市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



家庭用ゲーム機の国内販売台数推移
CESA「ゲーム白書」

音楽ソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

1次流通市場

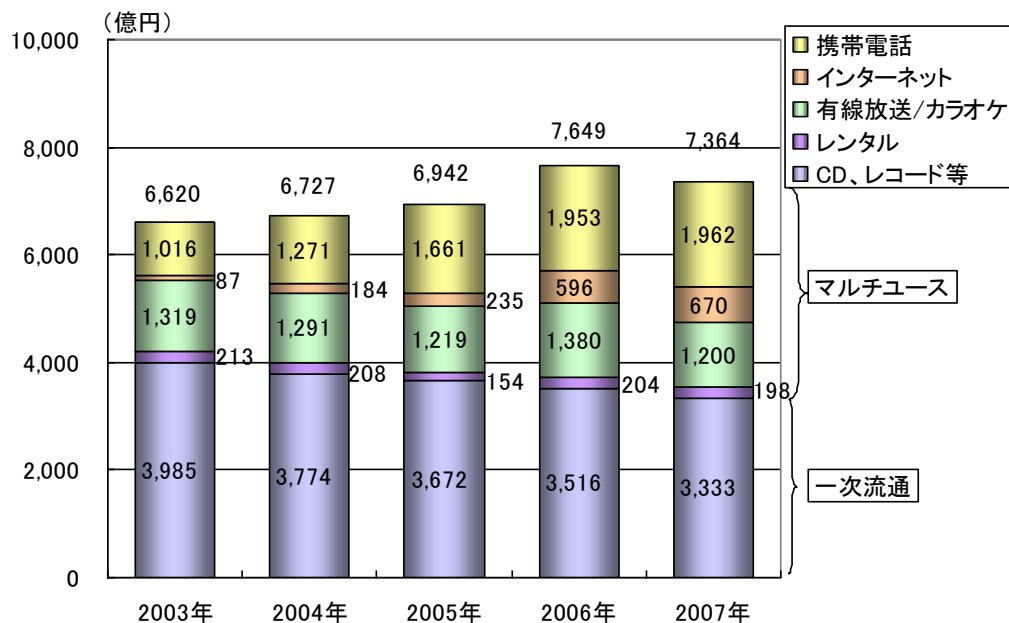
・算出方法 ⇒ 音楽CD等の生産金額から算出。

・最近の動向・・・音楽CD等の売行きが不振なことから、音楽ソフトの一次流通市場は2007年も減少し、3,333億円となった。2003年から2割弱の減少となる。

マルチユース市場

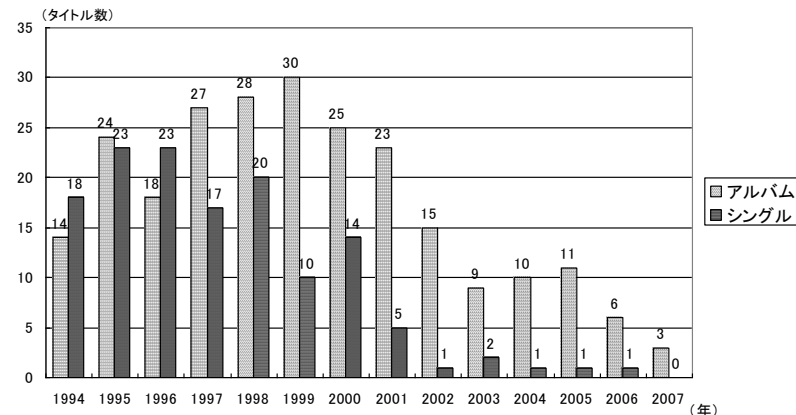
・算出方法 ⇒ レンタル、有線放送、通信カラオケソフトの売上、着メロ・着うたや音楽配信などPCインターネット、携帯インターネット配信による販売/利用料収入等から算出。

・最近の動向・・・近年、携帯インターネットへの着メロ・着うたの配信を中心としたネットワークによる配信事業が好調なことから増加傾向にあったが、有線放送・カラオケが減少したことから、音楽ソフトの2007年マルチユース市場は4,031億円となり、2006年の4,133億円から減少となった。



音楽ソフト市場の推移

「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



ミリオンセラー作品数の推移
社団法人日本レコード協会

ラジオ番組市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

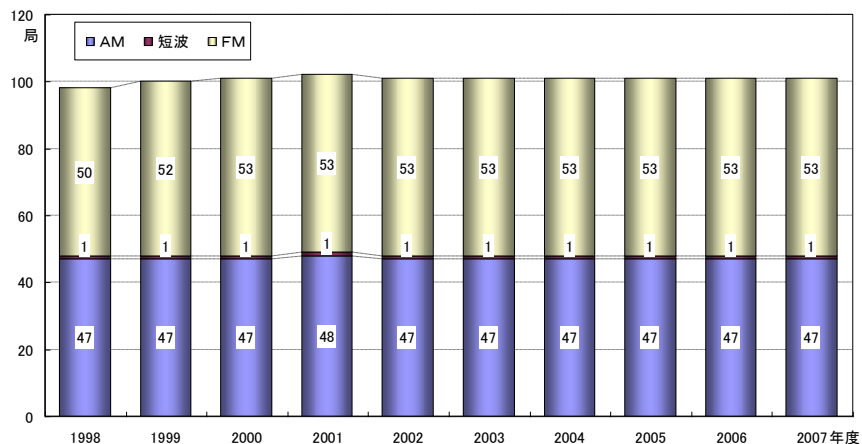
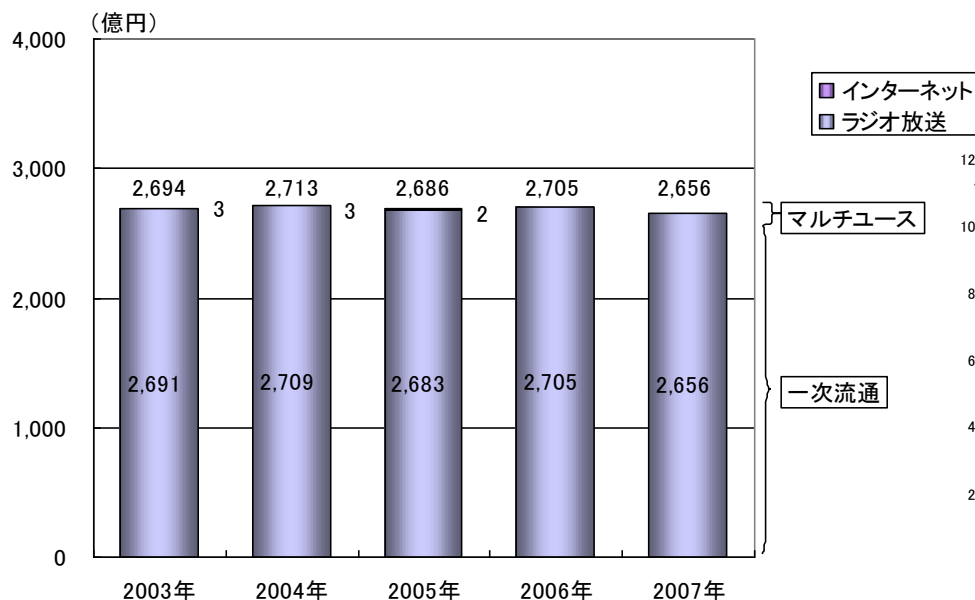
・算出方法 ⇒ 地上波・衛星ラジオ放送局の収入から算出。

・最近の動向・・・広告費の減少が続いており、ラジオ放送局の営業収入が減少している。2007年のラジオ番組の一次流通市場規模は2,656億円となり、2006年の2,705億円から1.8%減となった。

■マルチユース市場

・算出方法 ⇒ ポッドキャスト等でのインターネット配信(いわゆるネットラジオ)がある。(有料のネットラジオの利用が減少し、データの取得が困難となったため、市場算出を見合わせた)。

・最近の動向・・・放送済みの番組を編集してインターネットで提供しているケースが多い。



ラジオ番組市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」

民間ラジオ放送局数の推移
社団法人日本民間放送連盟『日本民間放送年鑑』

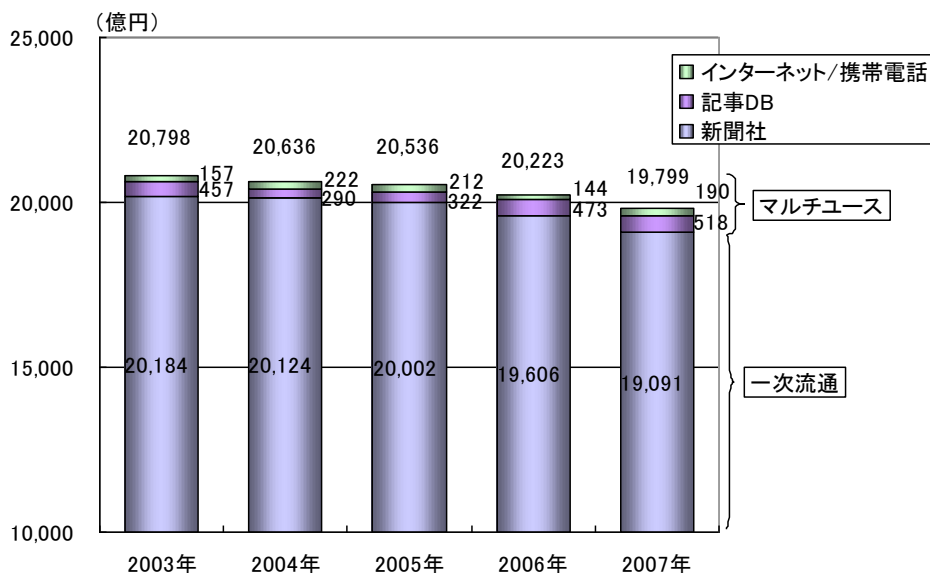
新聞記事市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

- ・算出方法 ⇒ 新聞社の販売収入及び広告収入から算出(その他収入は含まない)。
- ・最近の動向・・・近年、新聞社の販売収入/広告収入が減少傾向にあることから、2007年の新聞記事の一次流通市場は1兆9,091億円となり、2006年の1兆9,606億円と比べ、2.6%減となっている。特に広告収入が5.9%減と大きく減少した。

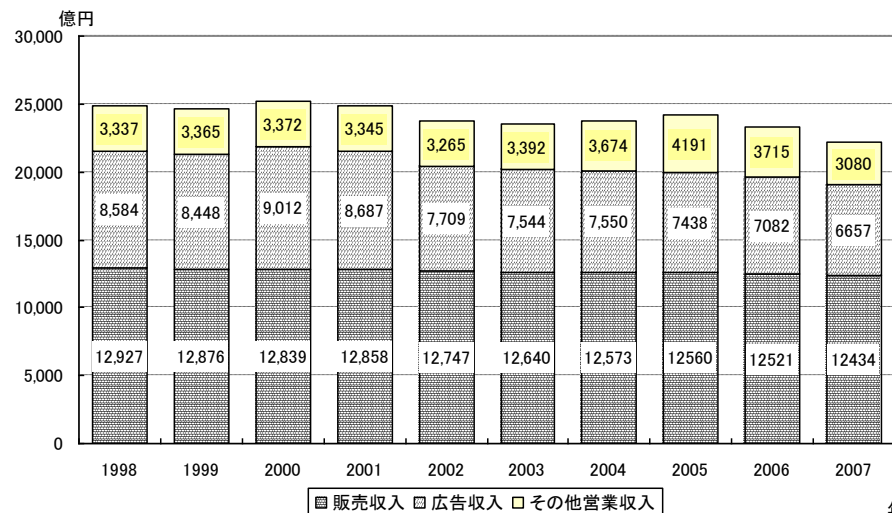
■マルチユース市場

- ・算出方法 ⇒ 記事データベースの市場、PCインターネットや携帯インターネットなどネットワークによる配信市場から算出。
- ・最近の動向・・・2006年の617.1億円から2007年の707.7億円へと、14.7%増となり、2005年の704.2億円とほぼ同じ規模となっている。なお、新聞記事のマルチユース市場は一次流通市場の3.7%と規模は小さい。



新聞記事市場の推移

「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



新聞社売上高の推移

社団法人日本新聞協会『日本新聞年鑑』

コミック市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

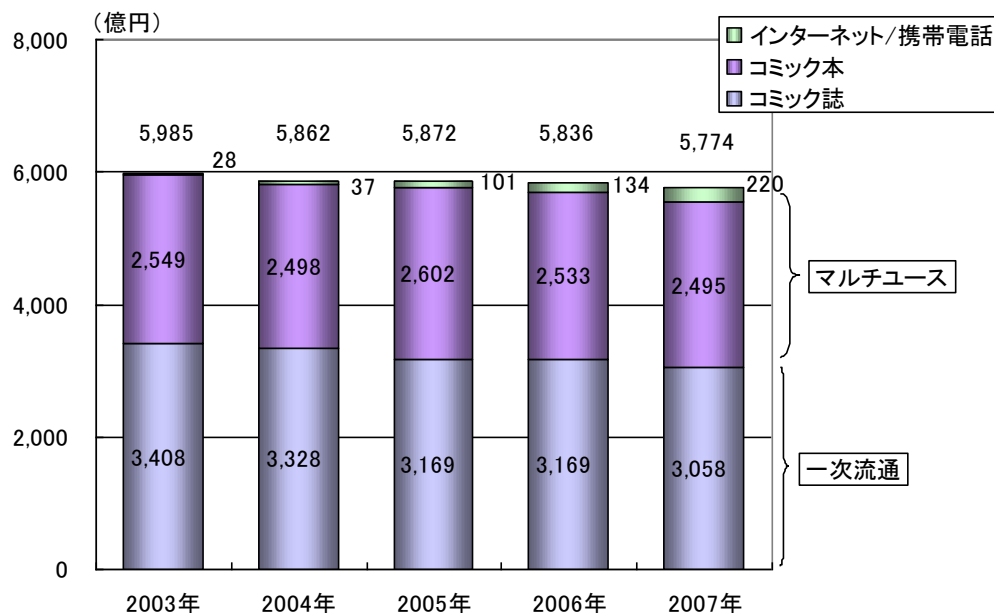
・算出方法 ⇒ コミック誌の販売額とコミック誌への雑誌広告費から算出。

・最近の動向・・・新聞や書籍と同様、販売の低迷が続いており、2007年のコミックの一次流通市場の3,058億円は2006年の3,168億円と比べ、3.5%減となっている。

■マルチユース市場

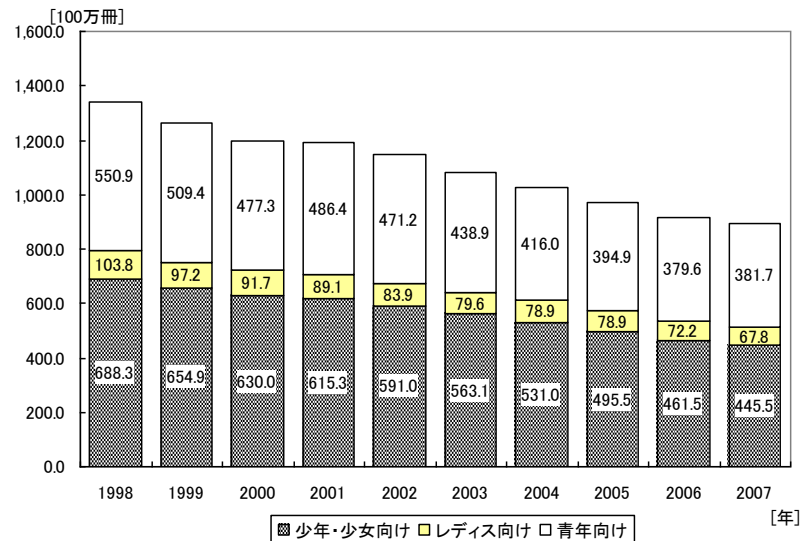
・算出方法 ⇒ コミック本(単行本)の売上、インターネット/携帯電話での配信の売上から算出。

・最近の動向・・・携帯電話を通じた配信が2006年の94.2億円から178.2億円とほぼ倍増したことなどから、2006年の2,667億円と比較すると1.8%増となっている。
 なお、コミックのマルチユース市場は一次流通市場の88.8%の大きさとなっている。



コミック市場の推移

「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



コミック誌の発行部数の推移

社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

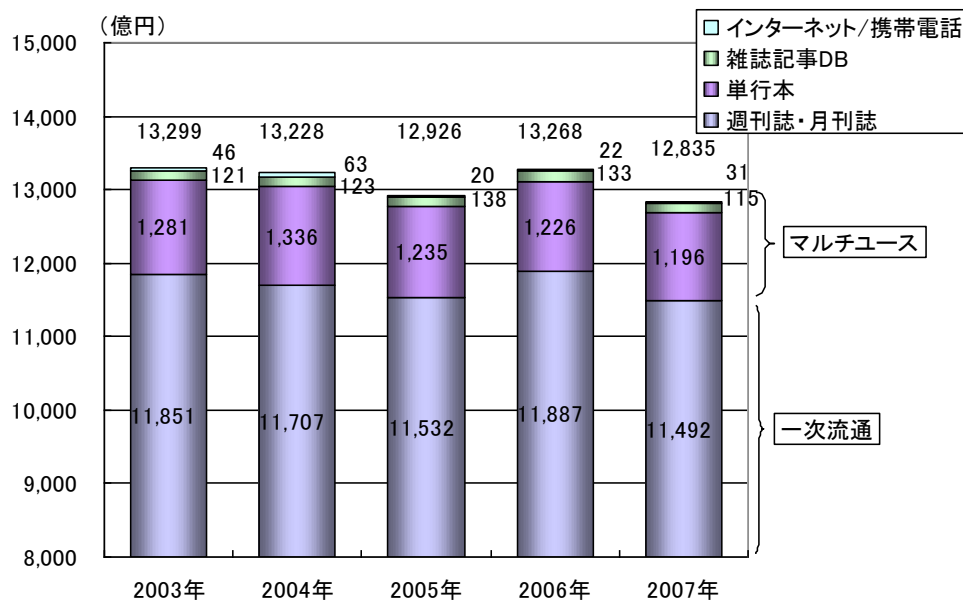
雑誌ソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

- ・算出方法 ⇒ 雑誌ソフトの一次流通の市場規模は、年間販売額及び広告費から算出。
- ・最近の動向・・・新聞、コミックと同様に販売が低迷しており、2007年の雑誌ソフトの一次流通市場の1兆1,492億円は2006年の1兆1,887億円と比べ、3.3%減となっている。特に、月刊誌の販売金額、広告費が4.1%減、4.0%減と低迷している。休刊する雑誌も増えている。

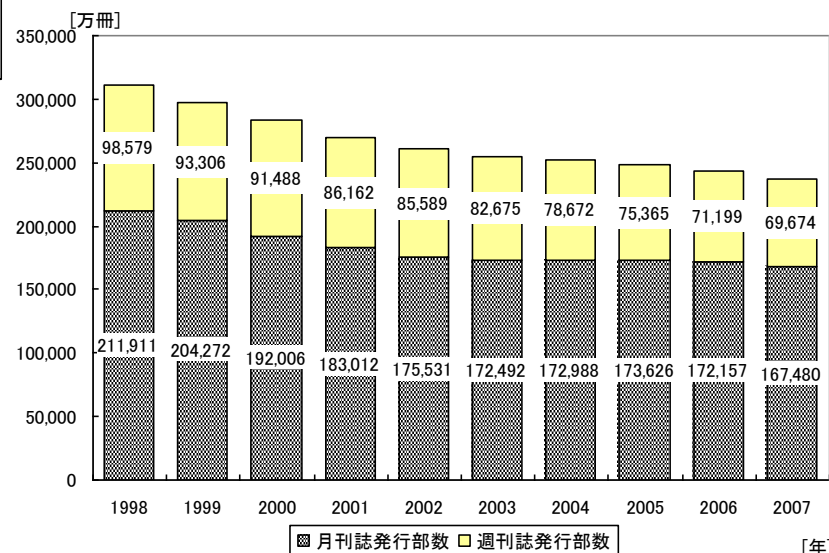
■マルチユース市場

- ・算出方法 ⇒ 単行本の販売額、雑誌記事DB、インターネット、携帯電話の配信市場から算出。
- ・最近の動向・・・雑誌記事のマルチユース市場は2006年の1,382億円から2007年には1,342億円となり、2.8%減となっている。なお、雑誌ソフトのマルチユース市場は、一次流通市場の11.7%の大きさとなっている。



雑誌ソフト市場の推移

「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



雑誌の発行部数の推移

社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

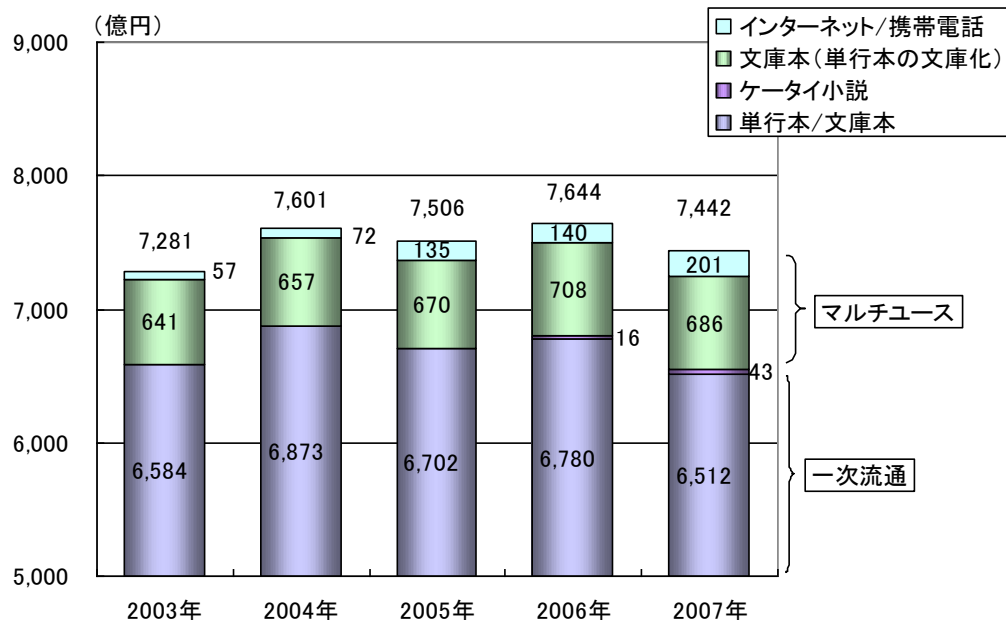
書籍ソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■1次流通市場

- ・算出方法 ⇒ 書籍(単行本)及び文庫本、ケータイ小説(2006年より計測開始)の販売額から算出。
- ・最近の動向・・・近年、新聞、雑誌と同様に販売の低迷が続いており、2007年には単行本、文庫本ともに2006年より減少し、一次流通市場は6,556億円となっている。2006年の6,796億円と比べると3.5%減となっている。

■マルチユース市場

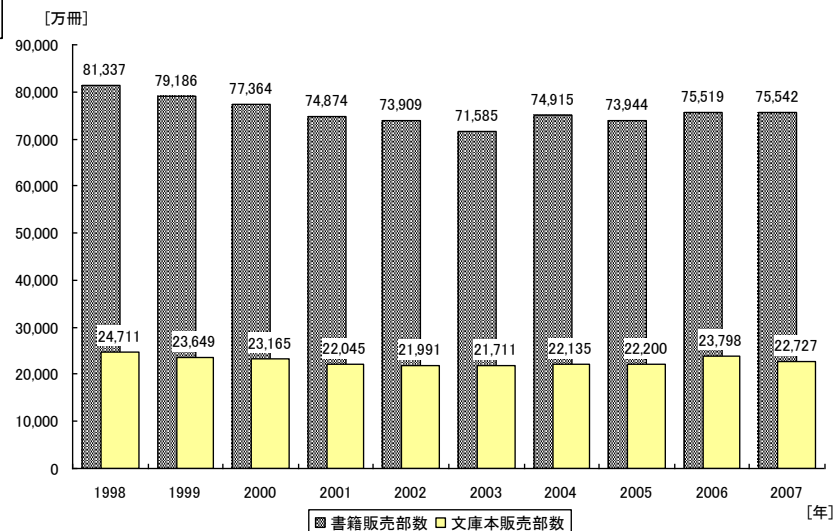
- ・算出方法 ⇒ 文庫本(単行本を文庫化したもの)の販売額、ネットワーク配信市場から算出。
- ・最近の動向・・・2007年のネットワーク配信による利用料収入は201億円と2006年の140億円と比べて43.2%増となったこともあり、書籍ソフトのマルチユース市場は2006年の848億円から886億円と4.5%増となっている。なお、書籍ソフトのマルチユース市場は、一次流通市場の13.5%の規模となっている。



ケータイ小説は2006年から計測。

書籍ソフト市場の推移

「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」



注: 書籍販売部数には書籍扱いコミック、文庫本も含まれる。

書籍の発行部数の推移

社団法人全国出版協会・出版科学研究所「出版指標年報」

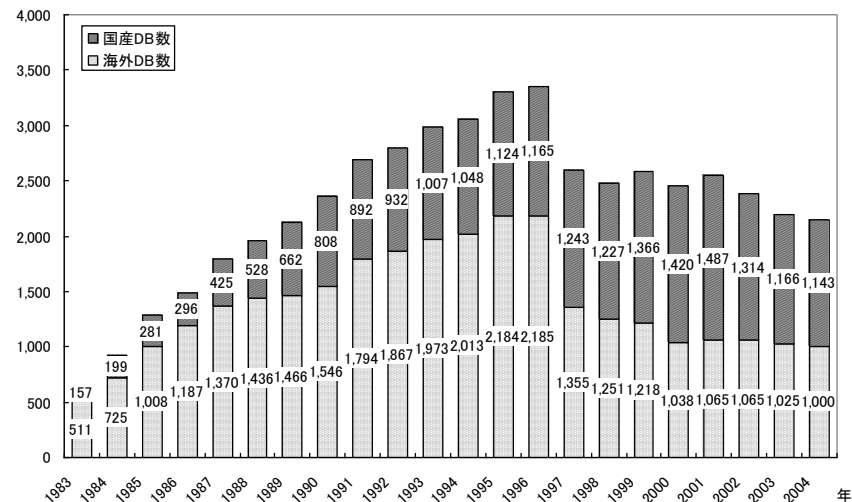
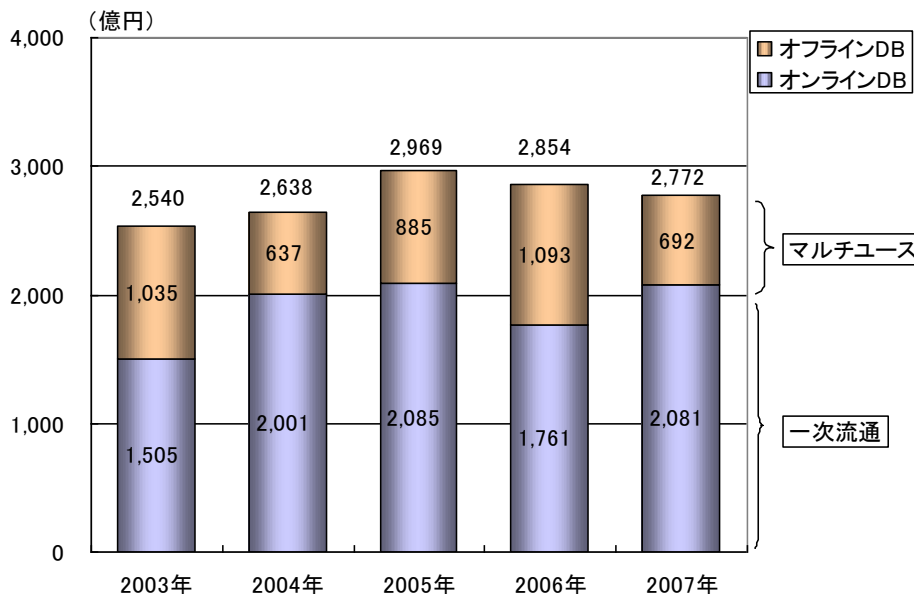
データベースソフト市場における1次流通、マルチユースの経年推移

■ 1次流通市場

- ・算出方法 ⇒ 国内及び海外のオンラインDBの利用料収入(売上高)から算出。
- ・最近の動向・・・2007年の1次流通市場は2,081億円である。2006年の1,761億円と比べ、18.1%増となっている。

■ マルチユース市場

- ・算出方法 ⇒ オフラインDBの利用料収入(売上高)から算出。
- ・最近の動向・・・2007年のDB記事のマルチユース市場の規模は692億円と2006年の1,093億円と比べ36.7%減となっており、DBがインターネット等のオンラインにより提供される形態が主流になっている状況が伺える。



データベースソフト市場の推移
「メディア・ソフトの制作及び流通の実態に関する調査(2007)」

国内で利用できるデータベース数の推移
経済産業省「データベース台帳総覧」より作成